

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第28回 2020年9月)



湖北方面に行く用事があったので、食いしん防の大好物のひとつである長浜名物「堅ボーロ」を買ってきた。おみやげとして職場に差し入れをしたところ、多くの人から「ええっ、こんなのがあるの!?!」「初めて食べた」という反応が返ってきた。

つるやの「サラダパン」同様に滋賀県民のソウルフードだと思っていたので、意外と知られていなかったことにビックリポンだった。

この「堅ボーロ」皆さんはご存知でしたか？ 世界の「硬いお菓子ランキング」で伊賀の「堅焼きせんべい」と並んで1位の座を争っている……というのは嘘だけど、それくらい硬い。ハタすると歯が欠けそうになるくらいだ。自信のない人はしばらく噛みたいにねぶってふやかしてから恐る恐る歯を立てる。噛みしめた瞬間、口の中にふんわり広がる生姜の風味がたまらない！

製造元の元祖堅ボーロ本舗は創業明治27年。初めは普通のパン屋だったが、堅ボーロ誕生秘話がちょっと面白い。パン生地にくらし粉を入れ忘れて焼いたら、ものすごく硬くなってしまった。捨てるのはもったいないので一口サイズに切り分けて二度焼きしてみたら「あれ、硬いけど美味しい！」 名物は失敗から生まれたのでした。失敗続きの人生を送っている食いしん防にとって、勇気づけられるイイ話です。

さて、いつからか日本の食品業界においては、「柔らかい」ことが至上の価値となっている。「お箸で切れるほど柔らかい肉」「ふわとろの食感」といったキャッチコピーがあらゆるところで踊りまくっている。そんなに柔らかいことは偉いのか？ 「歯ごたえがある」ことの素晴らしさはどうなった？

全国の「歯ごたえ」愛好家諸君！ 長浜の「堅ボーロ」を食べたまえ！ 前の晩に残ったカレーを冷やご飯にかけて食べるのも最高だ！（←炊き立てご飯のカレーライスにはない歯ごたえが味わえる。カレーは温め直すが、ご飯はチンせず冷たいままで！）

それと、昔ながらのかたいプリンを売っている店を知ってる人がいたらぜひ教えて！



これが長浜にある堅ボーロ本舗。老舗の風格！



クセになる美味しさ。見た目もキュート！

TOPICS

☆コロナ対策を踏まえた研修会に参加！

こと防が加盟している「災害支援市民ネットワークしが」の今年度第2回目の研修会が8月24日に西大津で開かれた。「福祉避難所の運営を考える ～コロナ禍の現状を踏まえて～」と題した講演が、佛科大学で災害福祉の研究をしている後藤至功教授によって行われ、その後グループに分かれて意見交換をした。

後藤先生 ハンサム！→



今回のテーマになっている福祉避難所とは、障がいや病気を持った人、高齢者や乳幼児など特別な配慮が必要とされる人のための避難所のこと。専門の相談職員などが配置され、学校などの一般避難所とは別に、市が何か所か指定している。

たいへん結構なシステムなのだが、問題はその施設が事前にほとんど公表周知されていないこと。「災害時にいろんな人に殺到されては困る」というのがその理由。ではどうなるかという、すべての避難者はいったん近くの一般避難所に行く。そこで「要配慮者」と認定された人が、福祉避難所に移転する、という手順だ。

では誰がその判別と認定をするのだ。運営スタッフにはそんな余裕も知識もないぞ！と思っていたら、災害現場には DMAT（ディーマット）という医療チームが派遣され、それをやってくれるんだとか。うーん、何だか机上の空論のような気がしないでもない。



いずれにしても、一般避難所にやって来る「要配慮者」に、DMAT とやらが来てくれるまでどう対応すればいいか。そのことも含めた「避難所運営」の研修や訓練が必要になってくる。今後は大きな課題の一つとして、こと防として取り組んでいく予定である。

コロナへの対応については、前号の記事とほぼ同じ内容だったので、そちらを参照してください。

☆コロナ対応助成に湖東まち協も応募

「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」が国によって行われる。コロナ対策として必要な事業に助成金がもらえるというもので、湖東まち協も応募申請を出すことになった。

その中から防災に関連したものを抜き出すと、避難所開設におけるコロナ感染防止用備品の購入が挙げられる。

台風など風水害の危険が迫った時、この地域では湖東コミセンに避難所が開設される。（注：規模の大きさによっては追加で複数個所になる場合も）避難者に感染するリスクを減らすため、消毒の徹底や使う部屋を増やして分散するといった措置を取るのだが、その他に次のような備品を購入する計画を立てた。



- サーキュレーター、空気清浄器……換気をよくするため。
- 飛沫感染防止パネル……受付などでの飛沫防止のため。
- 災害用ロール敷きマット……避難者が多くなり、硬い床の部屋も使うことになった時のため。
- 避難所用シールセット、簡易伝言シート……密を避けるための動線の確保や、耳の不自由な方に文字で情報を伝えやすくするため。
- ハンズフリー拡声器……大声を出さなくていいように。両手が使えるタイプ。
- 非接触型顔認証検温機……入口受付用に。



といった品々の購入するための助成を申請した。審査を受けてどれだけ通るかはわからないが、もし認可されない備品があった場合でも、必要なものはまち協会からの購入を検討したいと考えている。

今後の活動予定

9月20日 滋賀県総合防災訓練（会場：布引体育館）
下旬 コロナ対応緊急支援助成の認可発表



※ 出前講座の申し込み受け付けます！

勝手にQ&Aコーナー

Q：災害時の要配慮者への対応が「机上の空論」なんて言って、行政に怒られませんか？

A：食いしん防はすでに何度も怒られているので平気です。なんてことはありませんが、現場に混乱はつきもの。それを少しでも減らすには、事前の準備と訓練しかありません。次号の総合防災訓練レポートをご期待ください。

Q：「昔ながらのかたいプリン」とありますが、そんなの想像できません。

A：昔のプリンはもっとかたかったのです。食いしん防の認定する柔らかいプリン第1号は「グリコのぷっちゃんプリン」。初めて食べた時は「なんじゃこのへにゃへにゃしたプリンは！」と思ったもんです。缶詰のプリンが特にかたくて好きでした。今や絶滅危惧種です。

楽しい質問、お待ちしております！

（文責：こじまっちょ）

